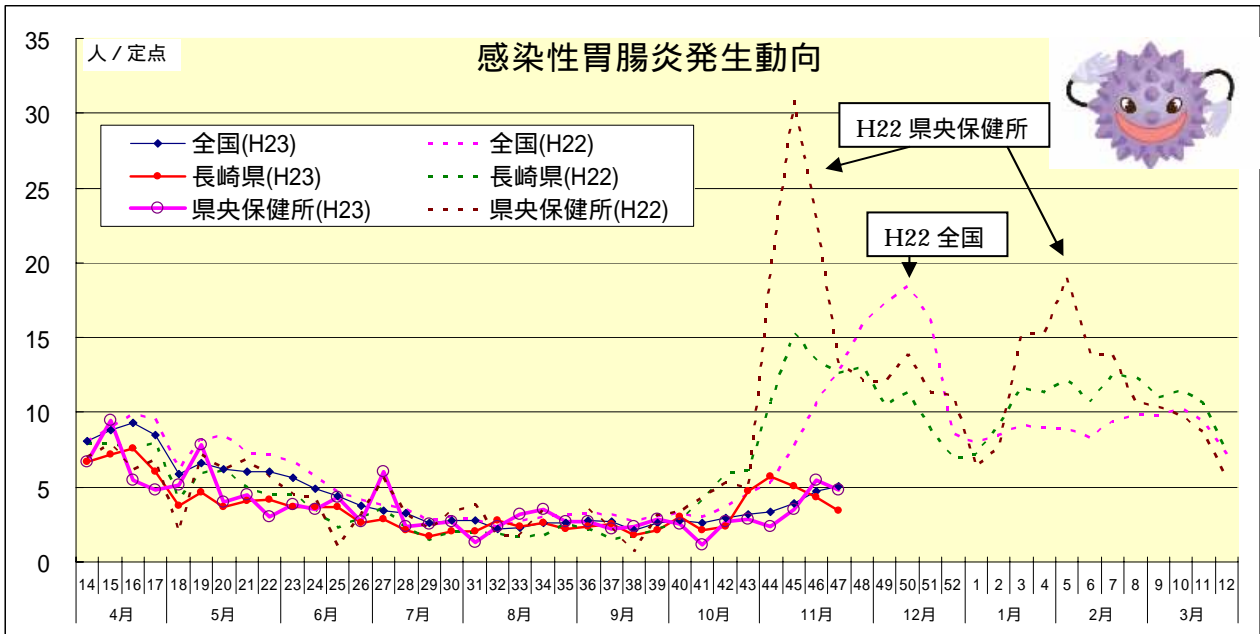




# 感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発



感染性胃腸炎の患者発生は、例年、11月～12月の中旬ごろにかけてピークとなる傾向となっており、特に、この時期の集団発生例の多くはノロウイルスによるものと推測されています。

患者が急増するシーズンを迎えるにあたり、小さいお子さんや高齢者がいらっしゃるご家庭や、学校、保育園、高齢者施設の皆さんは、手洗いの徹底や糞便・吐物の適切な処理等の感染予防対策に努めるようお願いいたします。

また、これまで感染者が食品の調理に従事することによる食中毒も多発しておりますので、食中毒の発生防止対策にも留意願います。



(参考)

ノロウイルスに関するQ & A (最終改定：平成23年5月29日)

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>